

原ゆうじ市政報告 VOL83

TEL 070-5540-9565

メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

公式 HP:hara88.mobi



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ
上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒業
長瀬産業(商社)勤務を経て
家業のベーカリー店を継ぐ
H22年市議初当選、以降、3期連続当選

元松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート 税金の無駄遣いは許さない！

市役所の移転は未決定なのに
議会には内緒で、独断で

市が市役所移転候補地の取得要望書を国へ提出してた！

そりゃないでしょう！まるでだまし討ち！？

6月28日、公共施設再編委員会開催で、

6月21日付で国に対し、新拠点ゾーン内にある国有地の取得要望書を提出していたことが判明しました。

とにかくびっくり！そりゃないでしょう！

驚いたのは、国有地の利用用途が、市役所移転のためとなっていたことです。しかし、市役所の移転は決まっておらず、これはいくら何でもやりすぎです！

まるでだまし討ち？3月の予算では、国有地の取得(原ゆうじは反対)を議会で可決していますが、その際、市は、土地の用途は、**図書館、市民会館を含めた公共施設建設を目的**にした街づくり用地として購入したいと説明していました。なので、土地購入は市役所移転を前提とはしていませんでした。

令和4年6月21日

関東財務局 千葉財務事務所長 殿

要望者 所在地 千葉県松戸市根本387番地の5
名称 千葉県松戸市
松戸市長 本郷谷 健次

取得等要望書

下記のとおり別紙1の理由に基づき未利用国有地の売払いを受けたく、関係書類を添えて要望します。

記

1. 財産の表示等
別紙2に記載する、施行予定である松戸市相模台地区土地区画整理事業において、仮換地の指定を予定する次の宅地

取得等要望希望時期：令和4年度

2. 利用用途
市役所機能再編整備用地

まるで、議会無視！？市長の強引な進め方に唖然、、、

市が独断で提出！今回、要望書提出した6月21日の前日、20日にも委員会は開かれていましたが、国への要望書提出の話はありませんでした。「なぜ、黙っていたのか？」との議員からの質問に対し、市は「今後とも丁寧に説明していきたい」と、謎の答弁を繰り返すばかりでした。

まるで議会を無視したような本郷谷市長の強引とも思えるやり方には唖然とします。(裏面へ続く)

～原ゆうじ市政報告会のお知らせ～

8月6日(土) 10:30~12:00 総台市民センター

8月6日(土) 13:30~15:00 六実市民センター

予約不要！入場無料！ 問い合わせ先：TEL070-5540-9565

尚、コロナ感染状況により中止の場合は原ゆうじホームページにてお知らせします。

市役所の移転（住所）には市議会の3分の2以上の同意が必要！

地方自治法第4条の存在 市役所移転については、特別ルールで地方自治法により右のような規定があります。事務所すなわち市役所の位置を変更する際には、**市議会の3分の2以上の賛成が必要と明記**されています。現状の松戸市議会議員は44人ですので**30人以上の賛成が必要**ということになります。

逆に移転を阻止するには15人以上の反対で済むことになります。

こうした地方自治法上の大きな制約もあり、移転はそう簡単なものではありません。

従って、まだ**市役所移転は未決定**です！！

地方自治法第四条（事務所の位置又は変更）
1、地方公共団体はその事務所の位置を定める又はこれを変更しようとするときは、条例でこれを定めなければならない
2、前項の事務所の位置を定め又はこれを変更するにあたっては、住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署との関係等について適当な考慮を払わなければならない
3、第1項の条例を制定し、又は、改廃しようとするときは当該地方自治体の議会において出席議員3分の2以上の者の同意が必要ではない

多い移転の問題点！現地建替えと公平な比較を！

市は、右図①の移転候補地（8,745 m² 2650 坪）を約 27.2 億円（坪約 103 万円）で購入意向です。

しかし、数多くの問題点が指摘されています。

- ① **土地が狭い**。現行 15,159 m²→候補地 8,745 m²
- ② **駐車場不足**。現行 280 台→130 台
- ③ **高い地下駐車場整備費** 130 台で 26 億円⇒1 台当たり約 2000 万円！

- ④ **道路整備費の増大** 国道 6 号上り車線の右折レーン整備、一步通行の S 字急坂の相互通行化

その他：駐車場待ちによる渋滞発生懸念、周辺学校のスクールゾーンでの交通量増大、プラーレ前道路の渋滞深刻化など多くの問題が懸念されています。



原ゆうじの考え！現地建て替えから検討すべきだ！

現状の市役所は建物が4つあるうち**議会棟、別館の2つは耐震性には問題がありません**。平成25年の市が委託した山下設計の調査結果もこの2つは引き続き使用するものでした。仮に2つの建物を引き続おおよそ**40億円以上のコスト削減**となります。（右表参照）

又、この2つの建物も、20年程度で寿命となり、建て替えが必要となりますが、逆にその時の状況（人口規模等）に合わせた適正規模となるよう、建て替えるのか否かの選択ができると考えます。

移転候補地は市民会館、図書館の建て替え用地としての活用も視野に入れて、まずは現地建て替えの可能性から検討すべきと考えます！

原ゆうじは決して諦めることなく全力で主張をし続けます！

現状同様約3万㎡での建替案の比較	本郷谷市長の移転建て替え案	原ゆうじの現地建て替え新案
土地取得費	27億円	0円
建設整備費	129億円	96億円
地下駐車場整備費	26億円 (1台あたり2000万円)	0円
現庁舎解体費	0円	6億円
仮庁舎賃貸料	0円	2.6億円
現庁舎跡地売却収入	-35億円	0円
事業費合計	147億円	104.6億円
敷地面積	8,745㎡	15,159㎡
駐車可能台数	130台	280台